



自ら考え行動し、学び続ける『キラリと光る励徳っ子』 きらりと光る笑顔

令和7年7月24日(木) 第15号 文責 山本 直子

無事に1学期を終えることができました

早いもので、1学期が終わり、夏休みも5日目が過ぎようとしています。

4月9日、2人の入学式から児童28人の令和7年度の励徳小がスタートしました。子どもたちには私から始業式の日、失敗を恐れずチャレンジしてほしい「失敗は成功のもと」という言葉を伝えました。茶摘みに田植え、芋の苗植えなど様々な体験活動。全校挙げて取り組んだ運動会。そして、日々の学校生活でもそれぞれの子どもたちが、いろいろな場面で活躍する姿を見せてくれました。そして、協力し合う姿、下学年を温かく見守り助ける上学年の姿、上学年を自分の兄姉のように慕う下学年の姿。どれをとっても励徳小の宝です。

そこには、保護者の皆さんの支えがあり、地域の方々の協力がありました。学校だけではなしえなかったことがたくさんあります。誰一人事故や事件に巻き込まれることなく安全に登下校することができたのも地域の皆さんの見守りがあってのこと。

しかし、これらは、励徳小の子どもたち、保護者の皆さん、地域の方々にとってはおそらく普通のことなのでしょう。かくゆう私も励徳小に赴任し、子どもたちと初めて会った時に感じた、初めての授業参観の時に感じた、初めての運動会の時に感じた感動が、だんだん日常になりつつあります。励徳小の一員になってきたということかなとうれしい気持ちと同時に、これを持続していかななくてはいけないという責任に気が引き締まります。

長い夏休み、子どもたちを各ご家庭にそして地域にお返しします。18日の終業式では、第1に病気や怪我などせず、命を大切に元気な姿で過ごしてくださいと話しました。第2に失敗しても挑戦することをあきらめないで挑戦し続けてくださいと話しました。

8月29日(金)さらに笑顔全開で登校してきてくれることを楽しみにしています。

かぼちゃの大収穫

3・4年生が植え育ててきたかぼちゃが、畑いっぱい大きな葉を茂らせて17日(木)に収穫の時期を迎えました。大きな葉に隠れているもののかぼちゃは2kg越えの丸々とした立派なカボチャに育ちました。子どもたちは、毎日毎日「登校したらかぼちゃ畑」を合言葉かのように、教室に向かうよりも先にかぼちゃ畑の様子を見に行き水をかけていました。子どもたちのその愛情もたっぷり詰まったかぼちゃとなりました。また、ここまで大きく育ったのは、片山さんのご指導のおかげ(陰ながらのお世話)によるものでもあります。3・4年生の皆さん。よく頑張りましたね。そして、片山さん、ご指導・ご協力ありがとうございました。



若干、若いカボチャもあったようですが、子どもたちは自分が育て収穫したカボチャを前に大満足でした。



HP 絶賛掲載中



終業式で1学期の振り返りと夏休みに頑張りたいことを発表してくれた子どもたちです。ちょっと恥ずかしがりの子も堂々と周りを見ながら、中学年以上は、原稿ではなくメモを見ての発表をしてくれました。

8020運動 ご存じですか？

1989年に厚生省と日本歯科医師会が提唱しました。80歳になっても20本以上の自分の歯を保とうという運動です。歯はもちろん歯茎もとても大切です。大事な歯や歯茎を健康に保つためには毎食後の歯磨きが必須です。今年の夏は、金森先生が「歯ッピーカード」の取組をしています。ご家庭でも歯磨きチェックをお願いします。